

2018年3月期 決算説明会資料

株式会社島津製作所

代表取締役社長 上田輝久

決算ハイライト



過去最高を更新

- 1). 売上高・営業利益・経常利益・純利益の**全ての項目で過去最高**.
- 2). **5期連続の増収増益**.

計測・医用・産機で 過去最高売上

- 1). **計測・医用・産業の3セグメントは、売上高で過去最高**
- 2). 計測機器と産業機器が牽引.
- 3). 計測機器は前期比11%増(除為替9%増)と全体を牽引
- 4). 産業機器は好況な半導体分野を中心に前期比22%増(除為替21%増)

収益性向上

- 1). 営業利益率は前期比0.6ポイント改善し11.4%に向上
- 2). **営業利益率も5期連続で過去最高を更新**.

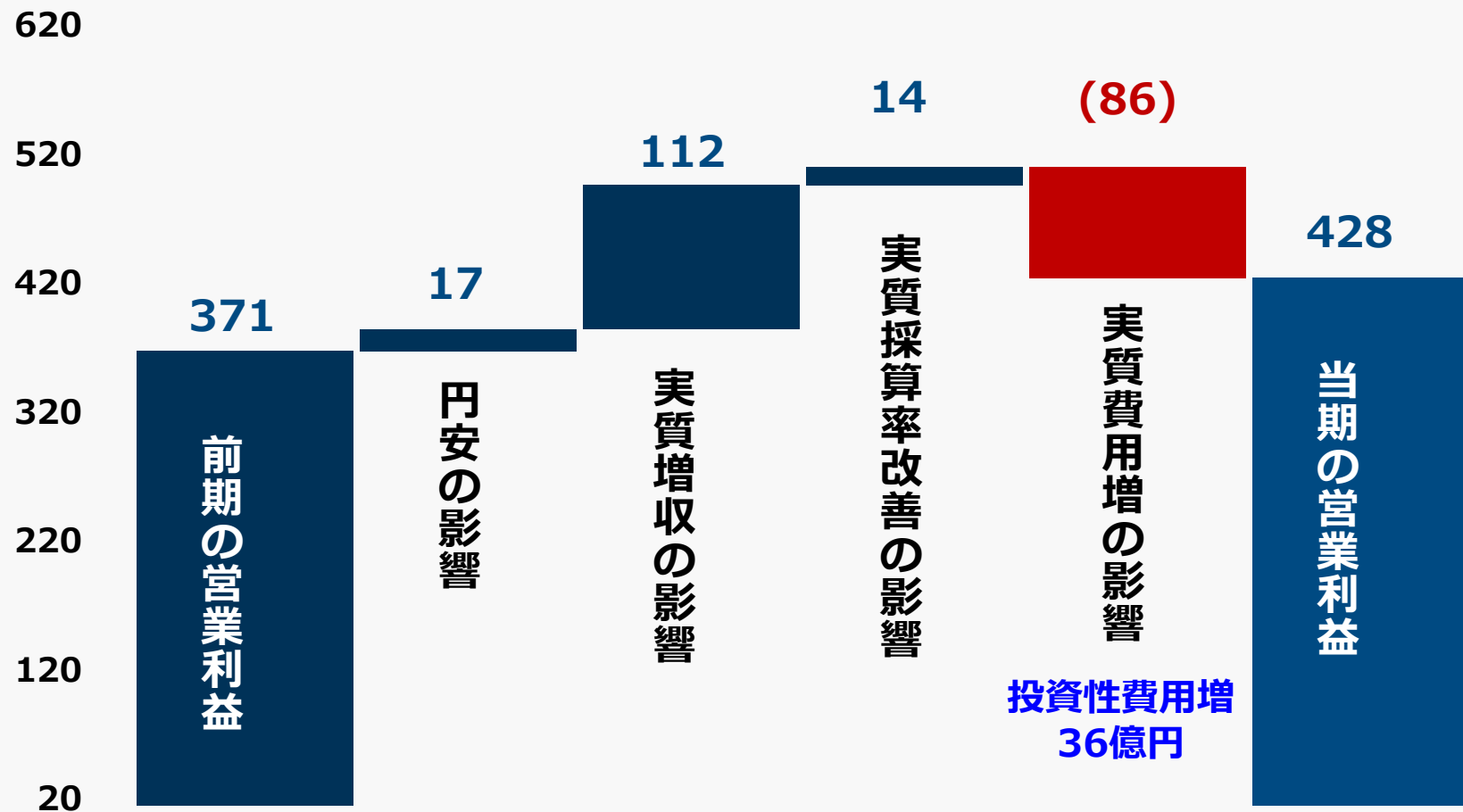
損益計算書

- * 売上高は3,765億円 (前期比：341億円増で10%増、為替影響 59億円)
- * 営業利益は428億円 (前期比：57億円増で16%増、為替影響 17億円、投資性費用増 36億円)
- * 営業利益率は11.4% (前期比：0.6ポイント向上)

単位：億円, 除く営業利益率, EPS		年間		前期比増加	
		2018.3期	2017.3期	円ベース	除く為替影響
売上高		3,765	3,425	341	9.9%
営業利益		428	371	57	15.5%
営業利益率		11.4%	10.8%	0.6ポイント改善	
経常利益		419	370	48	13.0%
親会社株主に帰属する当期純利益		298	265	34	12.7%
EPS		¥101.26	¥89.79	¥11.47	12.8%
期中平均為替レート	US\$	¥110.91	¥108.43	¥2.48	2.3%
	€	¥129.75	¥118.84	¥10.91	9.2%
為替影響額		※営業利益の「為替影響額」・前期比増加の「除く為替影響」には、たな卸資産未実現利益消去の為替影響を含む。			
売上高		59	※＜為替感応度＞US\$：売上高 12億円・営業利益 4億円, €：売上高 2億円・営業利益 0.7億円。		
営業利益		17			
研究開発費		155	146		
設備投資額		172	129		
減価償却費		106	95		

利益増減要因(2017.4-2018.3)

単位：億円



事業セグメント別損益

- * 全ての事業セグメントで増収、計測・医用・産業は増益。
- * 計測機器は主力製品・戦略製品の拡大で、売上2,316億円（前期比:223億円増、11%増）
営業利益は370億円で全体を牽引（前期比40億円増、12%増）、営業利益率は16.0%(前期比0.2ポイント向上)
- * 産業機器はターボ分子ポンプが大幅に拡大し、売上442億円（前期比80億円増、22%増）
営業利益は41億円（前期比14億円増、53%増）、営業利益率は 9.2% (前期比1.8ポイント向上)。

単位：億円		年間				前期比増減			
		2018.3期		2017.3期		円ベース		除く為替影響	
計測機器	売上高	2,316	OPM	2,092	OPM	223	10.7%	OPM	8.6%
	営業利益	370	16.0%	331	15.8%	40	12.1%	0.2 pt 改善	8.5%
医用機器	売上高	659	OPM	644	OPM	15	2.4%	OPM	1.0%
	営業損益	27	4.1%	19	3.0%	8	40.5%	1.1pt 改善	27.5%
航空機器	売上高	276	OPM	267	OPM	9	3.4%	OPM	2.7%
	営業利益	5	1.7%	8	2.9%	-3	-38.3%	1.2pt 悪化	-26.6%
産業機器	売上高	442	OPM	362	OPM	80	22.2%	OPM	20.8%
	営業利益	41	9.2%	27	7.4%	14	52.9%	1.8pt 改善	38.4%
その他	売上高	72	OPM	60	OPM	12	20.8%	OPM	20.8%
	営業利益	9	10.1%	9	11.8%	0	1.0%	1.7pt 悪化	1.0%
営業利益調整額		-24	—	-22	—	-2	—		
合計	売上高	3,765	OPM	3,425	OPM	341	9.9%	OPM	8.2%
	営業利益	428	11.4%	371	10.8%	57	15.5%	0.6pt 改善	10.8%

為替レート:

US\$: 110.91, €: 129.75

US\$: 108.43, €: 118.84

地域別売上高

- * 国内また、海外の全地域で拡大.
- * 国内で7%増、海外で13%増(除く為替 10%増)と、内外でバランスよく拡大.
- * 特に中国・米州は、二桁パーセント増と大きく伸長.
- * 海外売上高比率は50%、前期比1ポイント向上した.

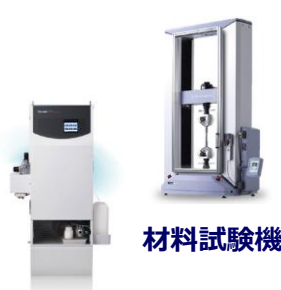
単位：億円	年間		前期比増加		
	2018.3期	2017.3期	円ベース		除く為替影響
日本	1,877	1,759	118	6.7%	6.7%
米州	481	425	56	13.3%	10.7%
北米	425	380	45	11.9%	9.3%
欧州	276	249	27	10.9%	2.5%
中国	684	561	123	21.9%	19.2%
その他のアジア	341	330	12	3.6%	1.1%
その他*	105	101	5	4.7%	1.1%
合計	3,765	3,425	341	9.9%	8.2%
海外売上高	1,889	1,666	223	13.4%	9.9%
海外売上高比率	50%	49%			

* 「その他」：オーストラリア・中近東・アフリカ

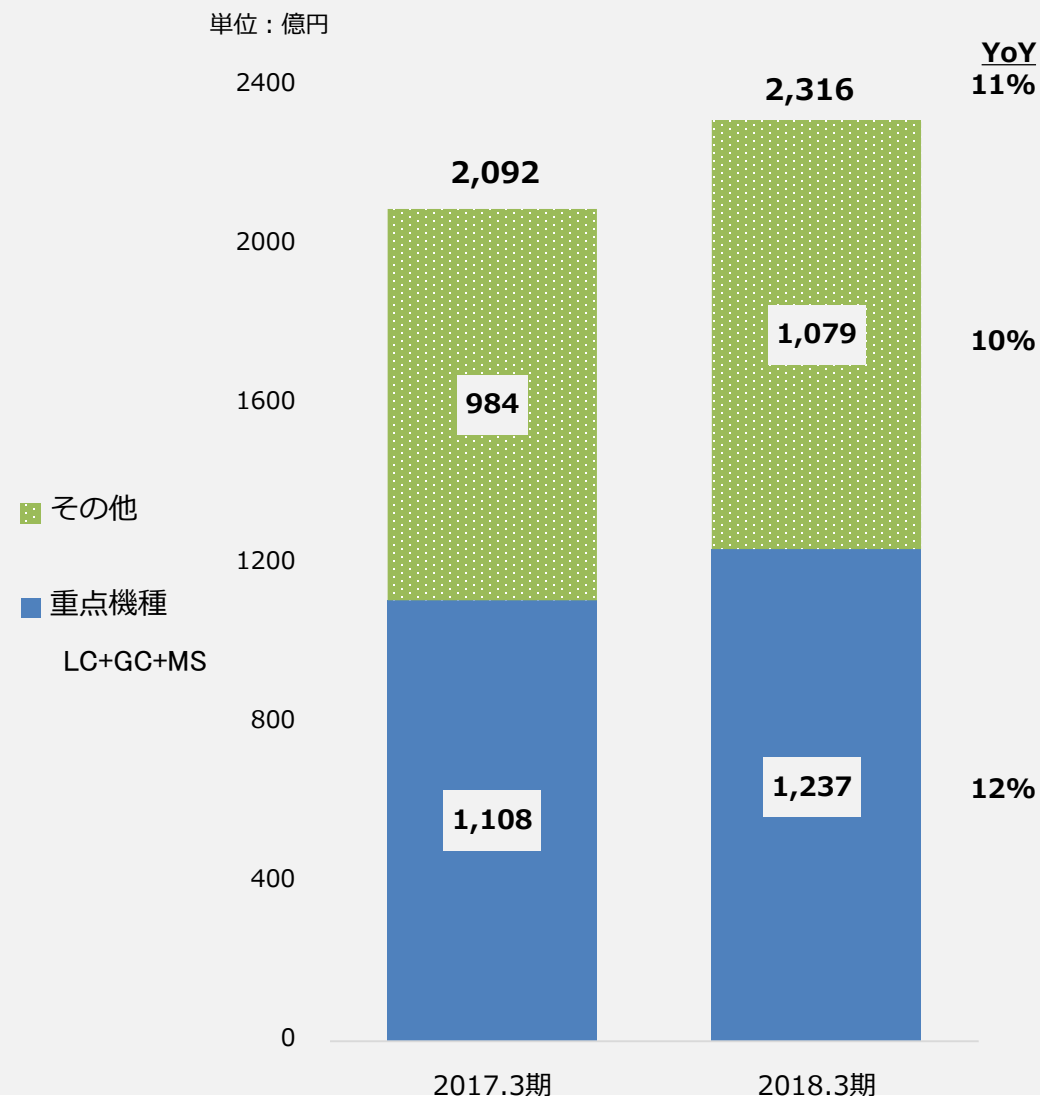
計測機器 1/3 [サブセグメント売上高]

- » **+11%:** **[計測機器売上高]** 重点機種が牽引、加えて中国での環境機器の拡大も寄与、幅広い装置が伸長。
- » **+12%:** **[重点機種]** 液体クロマトグラフは製薬・化学などで、また質量分析計は食品安全・環境などで拡大。
- » **+10%:** **[その他]** 中国で水質環境モニターが大幅に伸長、また試験機も自動車等で堅調に推移。
- » **27%** **[アフターマーケット比率]** アフターマーケット事業も前期比9%拡大、アフターマーケット比率はほぼ横ばい。

主要製品、アフターマーケット製品



水質分析計

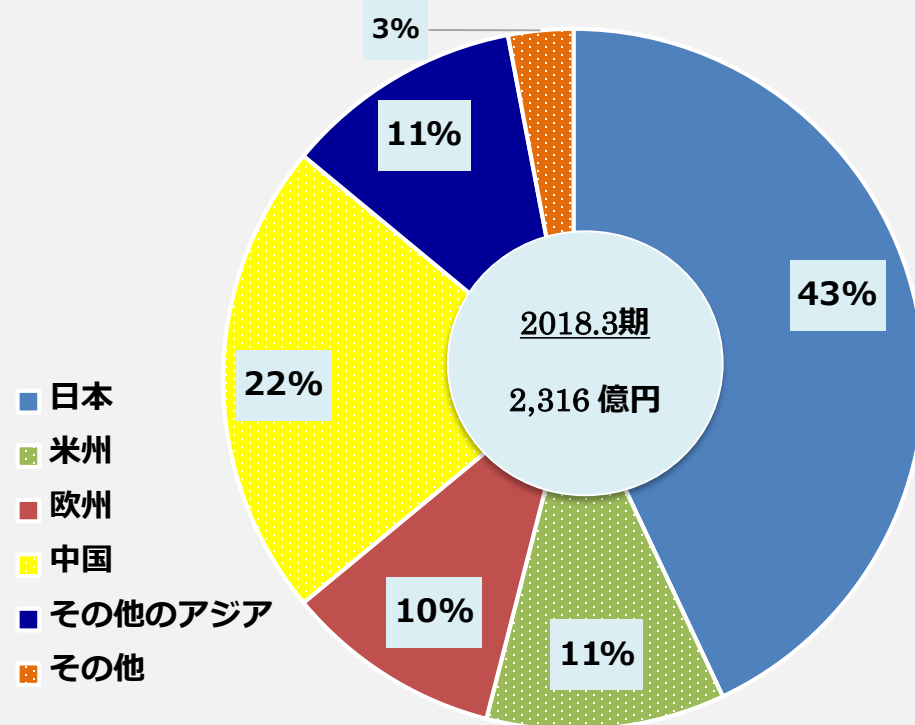


計測機器 2/3 [地域別売上高]

» 海外比率 57%

海外比率は、前期比1ポイント向上し57%に拡大。
環境・食品安全・受託分析等で中国が大きく伸長、日本・米州でも拡大。

〈計測機器地域別売上高構成〉



YoY

Total : 11%

日本 : 8%

海外Total : 13%

中国 : 18%

米州 : 15%

欧州 : 8%

その他アジア : 4%

その他 : 21%

計測機器 3/3 [分野別の売上]

1). 多くの産業分野に顧客を有する

- 医薬・CRO・ヘルスケア・食品：31%、
- 素材・機械・電機・自動車：22%
- 大学・官公庁：19%
- その他：28%

2). 最大分野の「医薬・CRO・ヘルスケア・食品」は、研究開発及び食品安全での需要拡大等で堅調に推移。（伸び率：9%）

3). 成長分野の「素材・機械・電機・自動車」では、研究開発・設備投資の増強、規制対応等で好調に推移。（伸び率：14%）

4). 大学・官公庁は中国を中心に堅調（伸び率：10%）

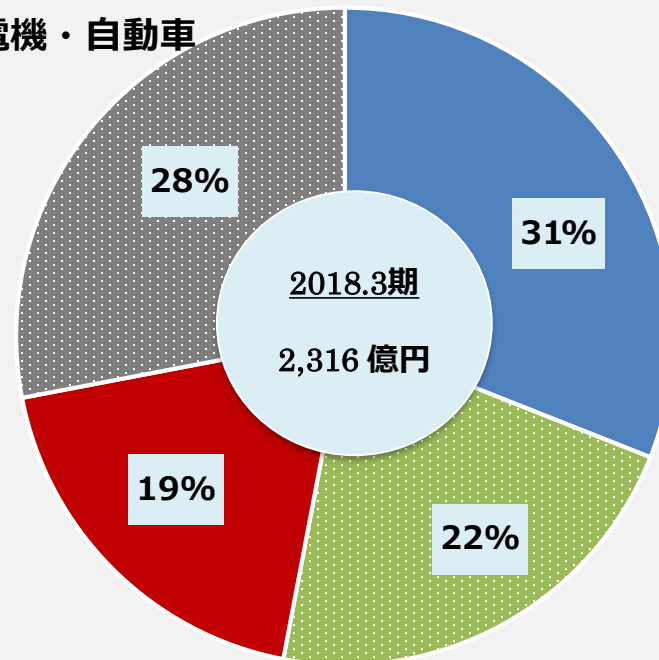
〈2018.3 期 計測機器分野別売上高構成〉

■ 医薬・CRO・ヘルスケア・食品

■ 素材・機械・電機・自動車

■ 大学・官公庁

■ その他



YoY

Total : 11%

医薬・CRO・ヘルスケア・食品 : 9%

素材・機械・電機・自動車 : 14%

大学・官公庁 : 10%

その他 : 14%

医用機器 1/2 [サブセグメント売上高]

- 》 +2%:** **[医用機器売上高]**
 回診用装置を含む撮影システムは堅調に推移したものの、TVシステムが停滞。
- 》 +2%:** **[X線装置]**
 回診用を含んだ撮影システムが、北米・中国・東南アジアなど海外で拡大、日本でも伸長。
- 》 30%:** **[アフターマーケット比率]**
 アフターマーケット事業は前期比3%拡大、アフターマーケット比率は前期比横ばい。

主要製品



血管撮影システム



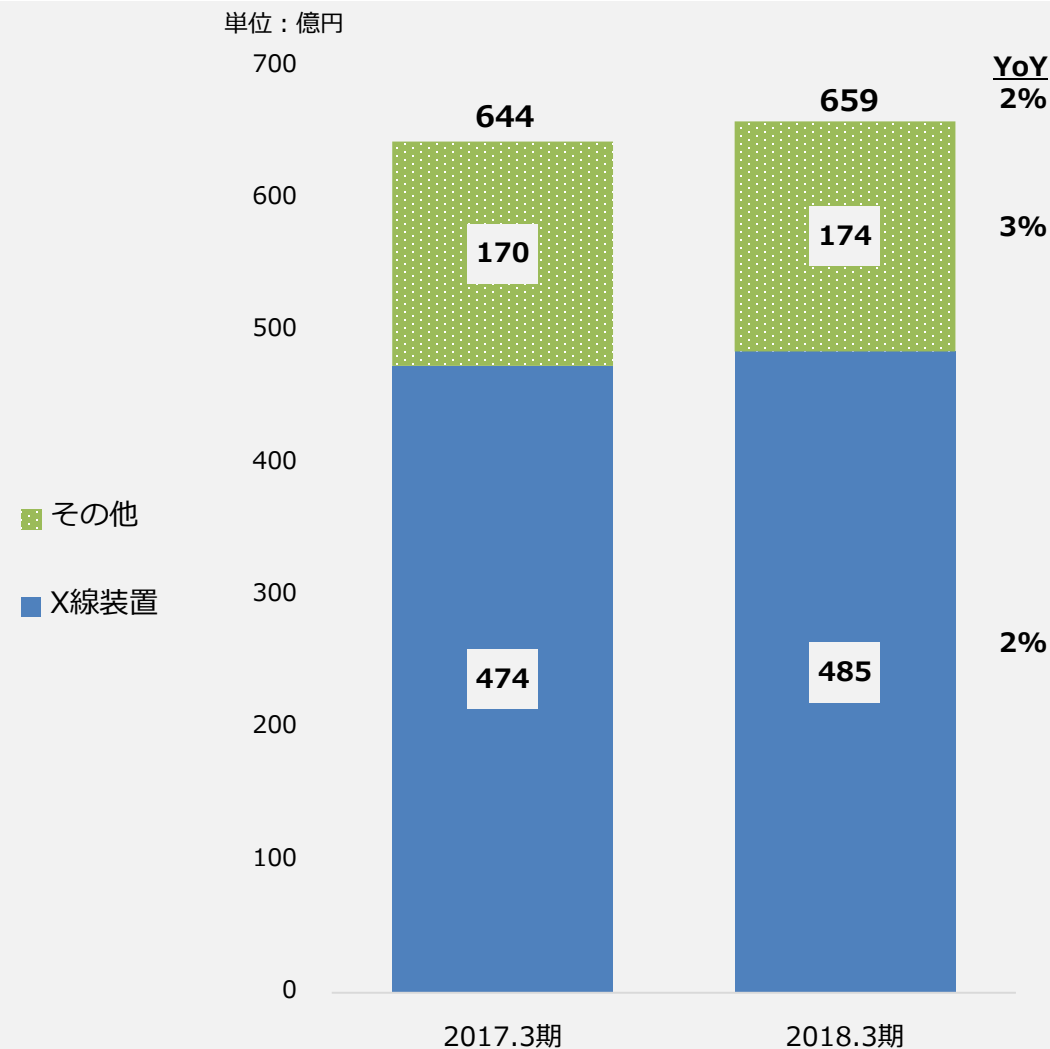
X線TVシステム



回診用装置



マンモPETシステム

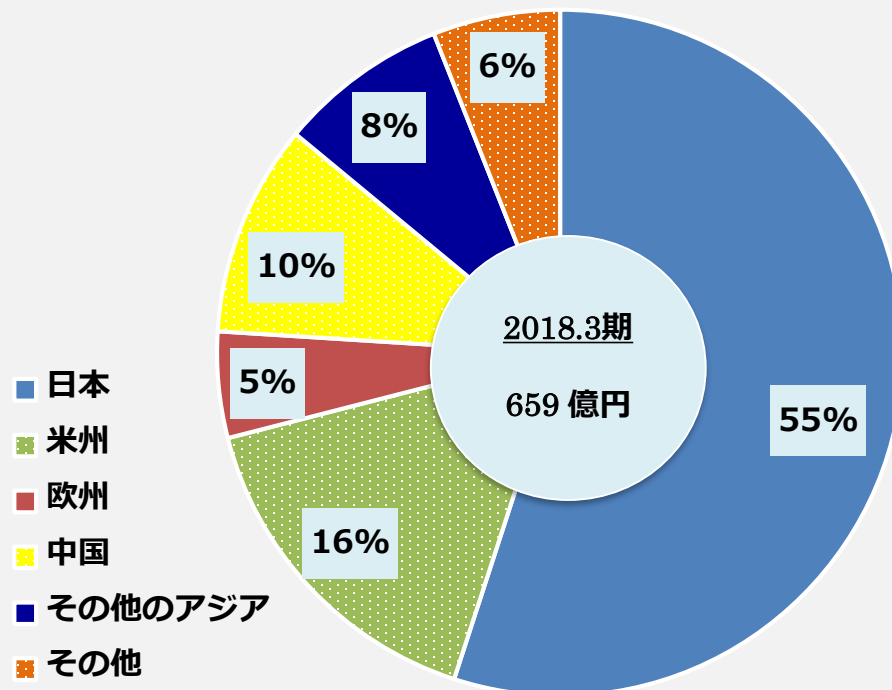
放射線治療
関連装置

医用機器 2/2 [地域別売上高]

» 海外比率 45%

海外比率は、前期比3ポイント向上し45%。
日本での診療報酬改定を控えた停滞を、米州・その他のアジアの拡大で補う。

〈医用機器地域別売上高構成〉



YoY

Total : 2%

日本 : -1%

海外Total : 8%

欧州 : 30%

その他アジア : 17%

米州 : 8%

中国 : 6%

その他 : -8%

産業機器 1/2 [サブセグメント売上高]

- 》 +22%:** **[産業機器売上高]**
 ターボ分子ポンプが牽引、油圧機器・その他も二桁パーセントで拡大。
- 》 +34%:** **[ターボ分子ポンプ]**
 好況な半導体製造分野への安定的な供給が寄与し、大幅に拡大。
- 》 +11%:** **[油圧機器]**
 フォークリフトや建機などに向け順調に推移。

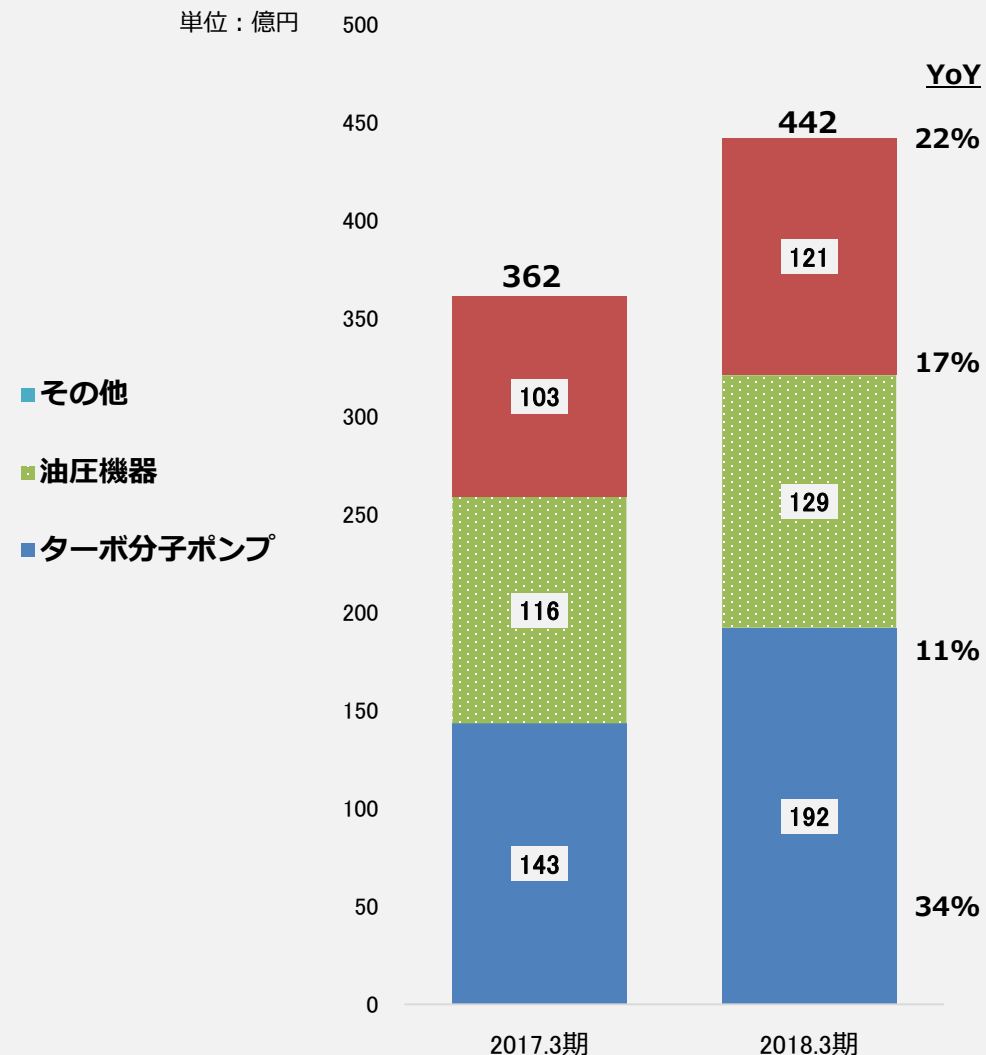
主要製品



ターボ分子ポンプ



油圧機器

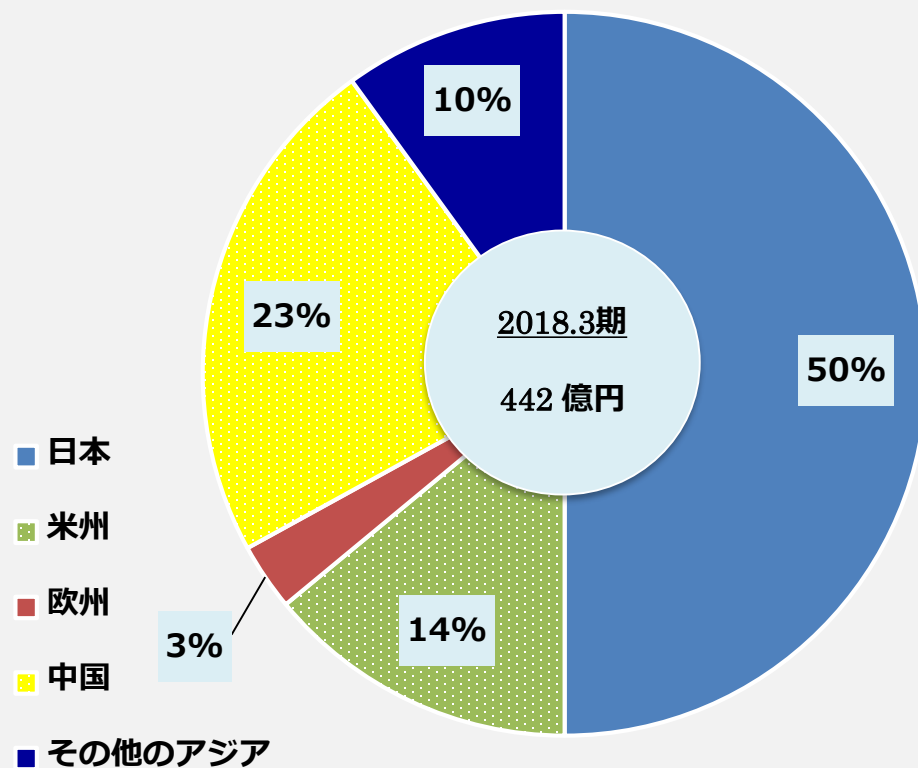


産業機器 2/2 [地域別売上高]

» 海外比率 50%

海外比率は、前期比3ポイントに拡大し50%に向上。
国内外で拡大、半導体分野等に特に米州・中国で大幅に伸長。

〈産業機器地域別売上高構成〉



YoY

Total : 22%

日本 : 14%

海外Total : 31%

中国 : 69%

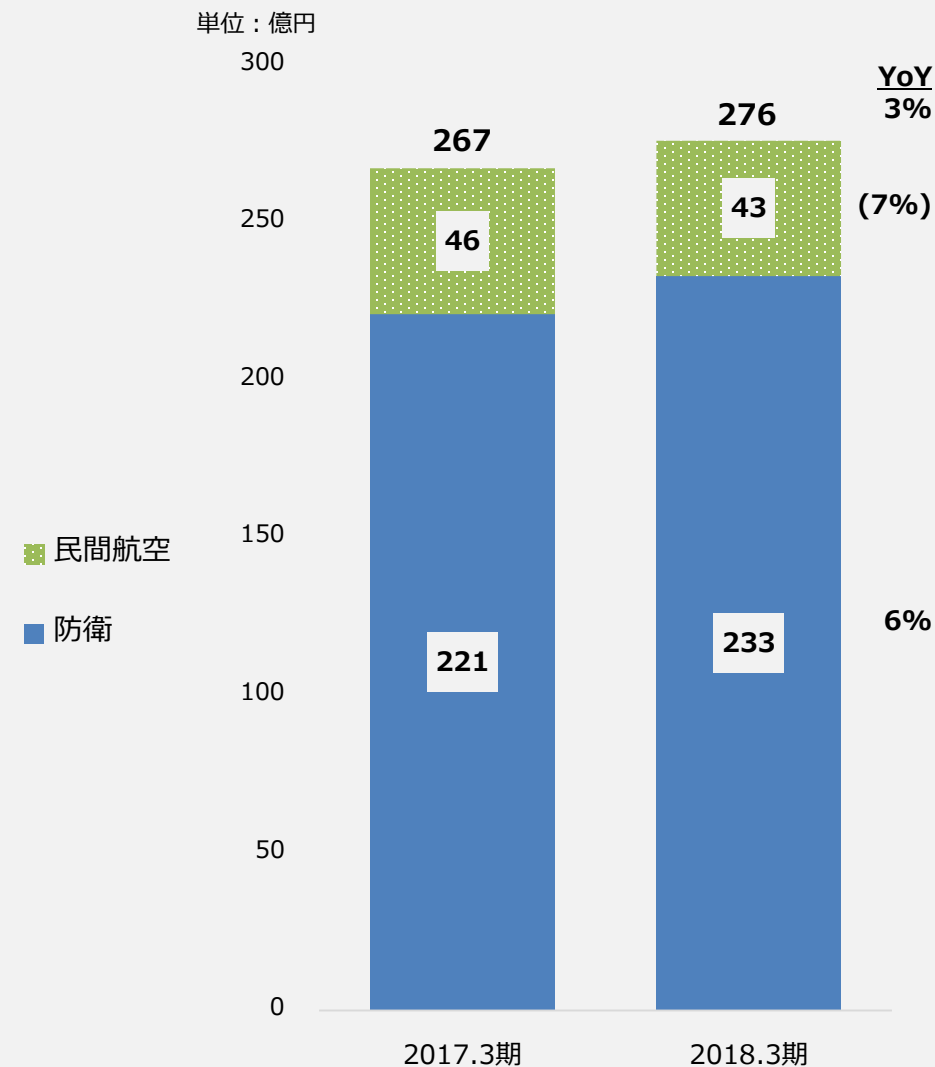
米州 : 38%

欧州 : 21%






その他アジア : -11%

航空機器 [サブセグメント売上高]

- 》 +3%:** **[航空機器売上高]**
 国内防衛事業は拡大、一方ボーイングでの減産の影響で民間航空事業は減少
- 》 +6%:** **[防衛事業]**
 新型輸送機C-2用搭載機器などが堅調に推移
- 》 -7%:** **[民間航空事業]**
 ボーイングの中型旅客機の減産が影響し減少



2018年事業環境見通し

 <p>日本 1.2%(±0%)</p>	<p>バイオ医薬など製薬分野での研究開発、素材・半導体・自動車分野での設備増強など旺盛な企業投資、オリンピックに向けた老朽化設備の更新等社会インフラの補強など、官民での需要拡大が見込まれる。 〈リスク〉東アジアでの国際関係の不安定化、診療報酬改定の影響</p>
 <p>米国 2.9%(+0.2pt)</p>	<p>バイオテクノロジー・ヘルスケアなど最先端分野での研究開発、規制緩和(カンナビス)による分析需要の拡大、半導体分野での生産拡大、また法人税減税による企業設備投資の拡大が見込まれる。 〈リスク〉保護主義的政策の推進、ドル安誘導</p>
 <p>ユーロ圏 2.4%(+0.2pt)</p>	<p>ドイツ・イタリア・オランダを中心にした内需の拡大、またロシア経済の回復も見込まれる。製薬、ヘルスケア、食品などでの需要拡大が予想される 〈リスク〉中東情勢不安定化の影響</p>
 <p>中国 6.6%(±0%)</p>	<p>安心安全な社会に向けた環境・食品など規制強化による需要増、大学の高度化を目指した研究機材の増強、製薬・CRO、半導体・FPDの民需拡大など、官民での旺盛な需要が見込まれる 〈リスク〉米中貿易摩擦の影響、急激な政策変更</p>
 <p>ASEAN 5.3% (±0%) インド 7.4%(±0%)</p>	<p>インドから東南アジア各国に広がるジェネリック医薬分野での研究開発及び設備投資の拡大、また外資企業による電機・自動車等の設備増強などの投資が見込まれる 〈リスク〉東南アジアでの政治の不安定化</p>

※左欄の各国数字は、2018年4月に公表されたIMFによる2018年GDP成長率予想。カッコ内は前回2018年1月予想との比較。

業績予想

- * 予想されるグローバル好況下で、更なる増収増益を計画。
- * 営業利益については、中期経営計画を1年前倒しで達成の見通し。
- * 6期連続の業績更新を目指す。

単位：億円, 除く営業利益率, EPS		年間		前期比増加	
		2019.3期計画	2018.3期	円ベース	除く為替影響
売上高		3,900	3,765	135	3.6%
営業利益		450	428	22	5.1%
営業利益率		11.5%	11.4%	0.1ポイント改善	
経常利益		440	419	21	5.1%
親会社株主に帰属する当期純利益		320	298	22	7.2%
EPS		¥108.63	¥101.26	¥7.37	7.3%
期中平均為替レート	US\$	¥105.00	¥110.91	-5.91	-5.3%
	€	¥130.00	¥129.75	0.25	0.2%
為替影響額		※ <為替感応度> US\$: 売上高 12億円・営業利益 4億円, € : 売上高 2億円・営業利益 0.7億円			
売上高		-70			
営業利益		-23			
研究開発費		170	155		
設備投資額		230	172		
減価償却費		117	106		

事業セグメント別業績予想

- * 計測・医用・産業の各セグメントで増収増益を計画。
- * また航空は、増益を目指す。
- * 産業の営業利益率は、9%を越え二桁%に近く見通し。

単位：億円		年間				前期比増減		
		2019.3期計画		2018.3期				
計測機器	売上高	2,410	OPM	2,316	OPM	94	4.1%	OPM
	営業利益	388	16.1%	370	16.0%	18	4.7%	0.1pt 改善
医用機器	売上高	695	OPM	659	OPM	36	5.4%	OPM
	営業利益	32	4.6%	27	4.1%	5	18.5%	0.5pt 改善
航空機器	売上高	265	OPM	276	OPM	-11	-4.1%	OPM
	営業利益	8	3.0%	5	1.7%	3	67.0%	1.3pt 改善
産業機器	売上高	465	OPM	442	OPM	23	5.2%	OPM
	営業利益	44	9.5%	41	9.2%	3	7.7%	0.3pt 改善
その他	売上高	65	OPM	72	OPM	-7	-10.0%	OPM
	営業利益	8	12.3%	9	10.1%	-1	-10.2%	2.2pt 改善
営業利益調整額		-30	—	-24	—	-6	—	
合計	売上高	3,900	OPM	3,765	OPM	135	3.6%	OPM
	営業利益	450	11.5%	428	11.4%	22	5.1%	0.1pt 改善

事業戦略の推進 1/6 「I.新製品」：計測機器での重点機種 のラインナップ拡充

- * 新製品：製品ラインナップの強化・拡大（全自動化、新規前処理システム、現場分析 等）
- * 既存製品：応用分野の拡大（イノベーションセンターを中心とした外部機関との共同開発の推進）
- * ネットワークシステム：統合ネットワークシステムのコンセプト推進
- * アフターマーケット：試薬・消耗品の拡大、サービス事業の強化（マルチベンダーサービス 等）

計測「LC」	計測「MS」	計測「MS」	計測「MS」	計測「GC」
 <p>i-Series Plus 前処理等分析作業の自動化を一層高めた、一体型LC. 8.31 発売</p>	 <p>Nexera Mikros ミクロ流量対応のLCMS. 製薬向けに高感度、堅牢性、又使いやすさを実現. 1.29発売</p>	 <p>DPiMS-2020 現場での迅速な質量分析を実現した直接イオン化方式MS. 9.1発売</p>	 <p>MALDI-8020 卓上型で最高の分解能を有するMALDI, 抗体・核酸等の製薬や大学で拡販. 10.30発売</p>	 <p>前処理システムTD-30 揮発性成分をGCに導入, 大気, 住宅・自動車の内装品の分析などで拡販. 10.11 発売</p>

ネットワークシステム：LabSolutions

- * 光分析装置データインテグリティ強化 (8.9発売)



アフターマーケット事業：LabTotal

- * 試薬・消耗品事業のM&Aも含めた強化・拡充(6.22発表)
- * アルザキム試薬・試薬キット・LCカラム・血液前処理デバイス



事業戦略の推進 2/6 「I.新製品」：医用機器・産業機器での 新分野また応用分野の開拓

- * 新規製品：製品ラインナップの拡充と新分野の開拓 → “マンモPET”等
- * 既存製品：シェアの獲得，応用分野の開拓 → “Trinias Unity”・“Mobile DaRt”，“TMP-B70形”
- * アフターマーケット：メンテナンスサービスの拡充(医用機器 24時間・365日対応，産業機器 TMP 等)

医用・血管撮影システム



Trinias Unity

心臓や頭部、腹部から下肢までの全身領域の血管内治療を強力にサポート。

10.25発売

医用・回診用撮影システム



Mobile DaRt MX8

伸縮式支柱による小型化と走行性の向上など，性能・機能を大きく高めたデジタル撮影装置。

1.17 発売

医用・マンモPET



(京都大学病院と共同開発)

Elmammo Avant Class

痛みをともなわずに高精度な乳がん検査を実現、画質や患者のフィット感を向上。

9.4発売

産機・TMP



TMP-B70形

小型・高排気性能のターボ分子ポンプ，一般産業機器・分析装置などで拡販。

12.8発売



フロスト & サリバン社

“2017 Global General Radiography Product Line Strategy Leadership Award”を受賞。

内閣府「第15回産学官連携功労者表彰 厚生労働大臣賞」受賞(9.1).



アプライド・マテリアルズ社

同社より優秀サプライヤー賞(2016)を受賞。

事業戦略の推進 3/6 「Ⅱ.成長分野での需要開拓」： 標準化への様々な取り組み

改正RoHS指令

フタル酸エステル スクリーニングシステム Py-Screener

2019年7月から追加される規制物質フタル酸エステル類の分析法策定に参画、GCMSのアプリケーションとして製品化.



EPA化学物質規制

全有機体炭素計 TOC-L

アメリカ合衆国環境保護庁(EPA)の化学物質規制水質規制(ASTM-D8083)に於いて、全窒素分析メソッドとして採用.



LPガス中の水分測定法

ガスクロマトグラフ 微量水分測定システム

標準試験法として米国公定法での採用を申請中. 米国イノベーションセンターでのアプリケーション開発.



プラスチック強度試験法

高速引張試験機 ハイドロショットHITS

プラスチックの引張強度速度依存性評価のための試験方法の作成に参画.



事業戦略の推進 4/6 「Ⅱ.成長分野での需要開拓」： 自動車の軽量化・安全性向上に貢献

材料強度

万能試験機オートグラフ AG-Xplus シリーズ

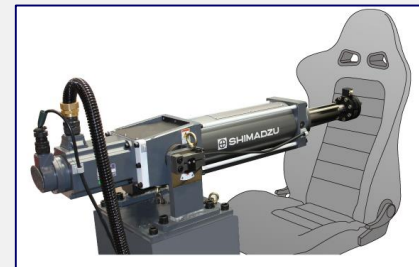
自動車に用いられる、金属・プラスチック・ゴム・フィルムなど、あらゆる部材・部品の強度を試験。



耐久性

電動サーボ式加振機 NJ-SERVOシリーズ

サーボモータと変位計測センサーにより、自動車の部材・内装品の耐久性を高精度に計測。



車内環境

ガスクロマトグラフ質量分析計 GCMS-QP2020



樹脂等の内装品から発する揮発性有機化合物類（VOCs）を測定、快適な室内空間の実現に貢献。

次世代技術

高速スパッタリング装置

衝突防止などに用いられるミリ波を透過、電磁波透過膜を高効率・低コストに成膜。



事業戦略の推進 5/6 「Ⅱ.成長分野での需要開拓」： アドバンストヘルスケアの推進

がん・生活習慣病



認知症

アルツハイマー病変早期検出用法の確立



- アミロイドβ分析より発症初期の段階で検知、進展を遅らせる早期治療に繋げる
- 治療薬の開発に貢献する有用なデータを提供

事業戦略の推進 6/6 「Ⅲ.投資」：先行的投資を着実に実施

計測機器

- 2017.6 仏試薬会社「Alsachim」買収、**アフターマーケット事業を強化**。
- 2017.8 「MCBI」に出資、**認知症検査事業に参画**。
- 2017.11 シンガポールに米中欧に続く4拠点目の「イノベーションセンター」を開設、**海外での研究開発を強化**。
- 2018.1 「ヘルスケアR&Dセンター」の建設に着工(2019.1 完成予定)。



医用機器

- 製造子会社「島根島津」の規模を1.5 倍に拡大、**製品の供給能力を拡大** (2019.2 完成予定)。

産業機器

- 需要増、シェア拡大に向けターボ分子ポンプの生産設備を増強、**製品の安定的供給体制を強化**。
- 2018.4 子会社2社を統合し「島津産機システムズ」を設立、真空装置などターボ分子ポンプ・油圧機器に続く、**第3 の収益の柱を確立へ**。

CSRの取組み 1/2

社会課題の解決に科学技術の重要性がますます高まる中、社是「科学技術で社会に貢献する」のもと、「事業を通じた社会課題の解決（戦略的CSR）」を推進します。



事業との
関連性がある
優先順位の高い
テーマに取り組む
＜戦略的CSR＞

【主な事業機会】

- 3 すべての人に健康と福祉を
予防医療の推進
- 4 質の高い教育をみんなに
質の高い理化学教育の実現
- 6 安全な水とトイレを世界中に
水・大気・土壌の規制に対応
- 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
老朽化インフラの診断
- 12 つくる責任 つかう責任
水・大気・土壌の規制に対応
- 17 パートナースHIPで目標を達成しよう
社会課題解決に向けイノベーション創出

CSRの取組み 2/2

【環境】

環境汚染改善への貢献

排水・排ガスや川の水、海の水、湖の水が、規制基準に適しているかをリアルタイムで計測し、**中国の環境汚染の改善**に貢献。



排水・地表水用計測機器



排ガス用計測機器

【社会】

先端科学技術による
産業発展への協力

原子力技術を応用し、途上国の開発を支援する協力覚書を締結。国際原子力機関の天野之弥事務局長(右)と調印(2017年10月)。



チェコの聖アンズ大学付属病院国際臨床研究センターとの共同研究覚書を締結。同国ボフスラフ・ソボトカ首相(左)と調印(2017年6月)。



【社会】

予防医療への貢献

パキスタンで、トラックにX線撮影装置を搭載し、各地でX線検査を行うことで、**結核の感染拡大抑制(早期発見)**に貢献。



トラックで各地を巡回



検査風景

コア技術の質量分析技術で、血液一滴から疾患のリスクチェックを、行うことで**医療費の削減**に貢献。



高速液体クロマトグラフ質量分析装置



企業価値向上に向けて

JPX日経インデックス400

株価
指数

「JPX日経インデックス400」構成銘柄
2年連続選定（2017.8）



FTSE Blossom Japan Index

株価
指数

「FTSE Blossom Japan Index」銘柄
選定（2017.6）



MSCI ESGセレクト・リーダーズ指数

株価
指数

「MSCI ジャパンESGセレクト・リーダーズ」銘柄
選定（2017.6）



女性活躍

株価
指数

「なでしこ銘柄」 2年連続選定（2018.3）
「MSCI 日本株女性活躍」銘柄 選定（2017.6）



健康経営優良法人 ホワイト500

健康
経営

「健康経営優良法人 ホワイト500」
2年連続認定（2018.2）



ハビタット評価認証

環境
経営

最高ランクAAA評価を取得（2015.5）





本説明資料に記載の将来の業績に関する内容は，経済情勢・為替・テクノロジーなど様々な外部変動要素により，事前見通しと大きく異なる結果となることがあります。